

第9期岡山県生涯学習審議会 第1回会議

日時 平成25年8月16日(金)
13:30～15:30
場所 県庁南庁舎3階第2会議室

1 開 会

2 会長・副会長の選出

3 議 事

- (1) 第3次岡山県生涯学習推進基本計画の概要について
- (2) 第3次岡山県生涯学習推進基本計画の進捗状況について
- (3) 「人と科学の未来館サイピア」利用状況について
- (4) ESD世界大会について
- (5) その他

3 閉 会

第9期岡山県生涯学習審議会委員名簿

【任期 平成25年8月1日～平成27年7月31日】

番号	氏名	役職名	選出分野	
1	赤澤 正基	岡山県子ども会連合会会長	青少年団体	
2	小川 孝雄	特定非営利活動法人岡山NPOセンター専務理事	NPO	
3	加藤 馨子	岡山県立岡山工業高校PTA会長	PTA	
4	門野八洲雄	岡山県公民館連合会会長	社会教育施設	
5	河上 直美	NPO法人タブララサ理事長	NPO	
6	澤津まり子	就実短期大学准教授	大学(幼児教育)	
7	清水 玲子	(株)山陽新聞社東京支社編集部長	企業	
8	竹久 保	勝央町教育委員会教育長	市町村	
9	土屋 紀子	(社)岡山県婦人協議会会長	女性団体・社会教育関係団体	
10	樽本 真弓	読書ボランティア「たんぼぼの家」代表	民間団体	
11	藤木 茂彦	(株)丸五取締役	企業	
12	水嶋美知江	美咲町立加美小学校校長	学校	
13	三原 誠介	岡山県議会議員	県議会	
14	本山 康代	(社)岡山県専修学校各種学校振興会副会長	専修・各種学校	
15	山本 珠美	香川大学生涯学習教育研究センター准教授	大学(生涯学習)	

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（抜粋）

（都道府県生涯学習審議会）

- 第10条 都道府県に、都道府県生涯学習審議会（以下「都道府県審議会」という。）を置くことができる。
- 2 都道府県審議会は、都道府県の教育委員会又は知事の諮問に応じ、当該都道府県の処理する事務に関し、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する。
 - 3 都道府県審議会は、前項に規定する事項に関し必要と認める事項を当該都道府県の教育委員会又は知事に建議することができる。
 - 4 前3項に定めるもののほか、都道府県審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、条例で定める。

岡山県生涯学習審議会条例

（設置）

- 第1条 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（平成2年法律第71号）第10条第1項の規定により、岡山県生涯学習審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

- 第2条 審議会は、委員25人以内で組織する。

（委員）

- 第3条 委員は、生涯学習に関し識見を有する者のうちから、知事の意見を聴いて、教育委員会が任命する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

- 第4条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（専門委員）

- 第5条 審議会に、専門の事項を調査させるため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

- 2 専門委員は、当該専門の事項に関し学識経験のある者のうちから、知事の意見を聴いて、教育委員会が任命する。
- 3 専門委員は、会長の命を受け、専門の事項を調査する。
- 4 専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

（部会）

- 第6条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員及び専門委員は、会長が指名する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によりこれを定める。
- 4 部会長は、部会の事務を掌理する。
- 5 部会長に事故があるときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

- 第7条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前3項の規定は、部会に準用する。

（庶務）

- 第8条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

（その他）

- 第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、審議会が定める。

附則 この条例は、平成13年1月6日から施行する。

岡山県生涯学習審議会 議事運営等に関する申し合わせ事項

1 議事運営について

- (1) 会議は公開とする。ただし、会長が認めたときは非公開とすることができる。
- (2) 審議の経過及び結果の発表が必要な場合は、会長又は会長の指名する者が行う。
- (3) 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者等を招き、意見の開陳又は説明を求めることができる。

2 議事要旨について

- (1) 議事要旨は公開とし、後日県のホームページに掲載する。

岡山県生涯学習審議会 会議傍聴要領

岡山県生涯学習審議会会議は、「審議会等の設置及び運営等に関する指針」の趣旨に則り公開いたします。会議傍聴上の留意事項は次のとおりですので、よくお読みください。

1 会議の公開

会議は原則として公開ですが、会長が認めた場合は、非公開となります。

2 傍聴の手続

(1) 傍聴を希望される方は、開議前に傍聴受付簿に氏名、住所を記入しなければなりません。

(2) 傍聴人数に制限は設けませんが、会議室の制約上、傍聴をお断りすることがありますので御了承ください。

なお、報道関係者で会長が認めた場合は、定められた傍聴人数とは別に傍聴することができます。

3 傍聴できない方

傍聴人は、係員の指示に従い傍聴席に入場してください。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、傍聴することができません。

(1) 酒気を帯びていると認められる場合

(2) 会議の妨害となると認められるものを携帯している場合

(3) その他会議の公正又は円滑な運営を妨害するおそれがあると会長が認めた場合

4 傍聴される方に守っていただきたいこと

傍聴される方は、次のことをしてはいけません。

(1) みだりに傍聴席を離れること。

(2) 飲食すること。

(3) 私語、談話、拍手等を行うこと。

(4) 議事に批評を加え、又は意見を表明すること。

(5) 許可なく写真を撮影し、録音その他これらに類する行為を行うこと。

(6) 携帯電話用装置その他の無線通話装置を使用しないこと。

(7) その他会議の妨害となるような行為を行うこと。

5 違反に対する措置及び退場

上記に違反したときは、直ちにその行為を中止させますが、その命令に従わないときは、当該傍聴人を退場させます。

上記退場を命じられた場合や、会議を非公開とする議決があったときは、速やかに退場しなければなりません。

6 その他

上記のほか、会議の傍聴に関し、別に指示があったときは、それに従ってください。

傍 聴 受 付 簿

期日： 年 月 日 場所：		
氏 名	住 所	備 考

概 要

第 3 次岡山県生涯学習推進基本計画

～郷土おかやまの明日を切り拓く生涯学習の推進を目指して～

《計画策定の趣旨》

これまでの本県における生涯学習推進の取組の成果と課題を検証し、さらに急速な社会情勢の変化から生じた新たな課題に適切に対応するため、岡山県生涯学習審議会からの答申を踏まえ、「第3次岡山県生涯学習推進基本計画」を策定します。

《計画の期間》

平成22年度～平成26年度

岡 山 県

◆計画の基本目標

豊かな学びと「地域力」の形成が循環する
「生涯学習社会☆おかやま」の実現

個々の県民が、生涯にわたる主体的な学習活動を通じ、それぞれの能力と個性を発揮して社会の中で自己実現を果たすとともに、個々の知識や経験、学習成果を地域社会に還元しながら、「地域力」の高い自立した地域社会の形成に向け、積極的に参加・参画して活動することにより、豊かな学びと「地域力」の形成が循環する「生涯学習社会☆おかやま」の実現を目指します。

◆計画の推進方向 ～重点的に取り組む学び～

☆☆計画の課題☆☆

- 学習活動が個人の教養や趣味の充実にとどまる。
- 社会での自己実現を目指す学習機会が不足
- 学習活動への参加が困難な県民の存在
- 行政が中心となった生涯学習推進の取組

方向性1 人がつながり地域社会に生かす「学び」

－学びの成果を生かして地域社会へ参加・参画する学習活動の促進－

地域課題への気付き・関心を高める学び、地域社会における人と人のつながりを構築する学びを支援するとともに、個々の知識や技術、経験等を積極的に社会に還元すること、学んだ成果を実践に生かすことを促進します。

〈方向性1の土台となる「学び」〉

たくましく未来を切り拓く「学び」

－個々の県民が社会人として自立を目指す学習活動の支援－

若者が、自らのライフデザインを描きながら、社会の中でいきいきと生活することができるよう、社会人として自立する学びを支援するとともに、だれもが生涯にわたって自らの能力を高める学習機会の充実に図ります。

個々が輝く「学び」

－県民だれもがニーズに応じて学ぶことができる取組の充実－

学びに対して時間的、空間的、環境的に制約がある県民に対しては、学びへのきっかけづくりや参加しやすい学習環境の整備に努め、学びの楽しさとの出会い、学びを通じた人との出会いを促進します。

方向性2 多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」

－社会を構成する多様な主体との連携・協働による取組の充実－

社会を構成する多様な主体と行政が連携・協働しながら、県民の生涯にわたる学習活動の充実に支援するとともに、学習成果の活用や「知」の循環を促進し、学びを通じた「地域力」向上への取組の充実に図ります。

《目標の設定と進捗よく状況の点検・評価》

計画の推進に当たっては、取組の成果を検証しながら、新たな課題にも柔軟に対応しつつ、点検評価を行います。

*****主な指標*****

推進する「学び」	目標とする指標	現況値	目標値
人がつながり地域社会に生かす「学び」	地域の人材を学校で活用している公立小・中学校の割合	—	100%
	家庭教育相談員の養成数	690人	870人
	放課後の子どもの居場所の整備 放課後子ども教室の設置箇所数 放課後児童クラブの設置箇所数	161 338	200 405
たくましく未来を切り拓く「学び」	「子ども参観日」実施事業所数	—	50
	様々な体験学習に参加した青少年の数	121,593人	133,000人
個々が輝く「学び」	県生涯学習大学連携講座数	515	650
	県民が1年間に公立図書館から借りた本の数	1,124万冊	1,300万冊
多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」	企業、団体等への学習機会の提供数	—	100
	市町村において生涯学習推進のための基本計画等を策定している市町村の割合	29.6%	50.0%

人がつながり地域社会に生かす「学び」

①地域に対する理解を深める学習機会の充実

- ・自分の地域を学習する機会の充実
 - ★公民館におけるふるさと学習の実施 等
- ・「岡山らしさ」を学習する機会の充実
 - ★岡山の歴史や文化、産業等を学ぶ機会の充実 等

②地域社会におけるつながりや支え合いを創り出す場・組織の充実

- ・教育プラットフォームづくりの推進
 - ★放課後や週末の子どもの居場所づくり 等
- ・家庭教育の支援
 - ★子育て応援団づくりの支援 等
- ・民間団体等による主体的な取組の促進
- ・スポーツを通じた地域社会のつながり構築の支援
- ・若者の自立を支援する場や組織等の充実
- ・公民館等社会教育施設の機能充実の支援
- ・コミュニティ組織の活性化

③地域社会に参加・参画するプログラムの充実

- ・「地域デビュー」の支援
 - ★学生ボランティア養成の実施 等
- ・様々な活動を通じた地域社会への参加・参画の促進
 - ★子育て支援を通じた参加・参画の促進
 - ★環境学習等を通じた参加・参画の促進 等

- ・文化活動を通じた地域社会への参加・参画の支援
 - ★国民文化祭を契機とした地域社会づくりの推進 等

④生涯学習コーディネーターの育成

- ・学校と地域社会をつなぐコーディネーターの育成
 - ★学校支援コーディネーターの養成 等
- ・専門性を有する職員等への研修機会の充実

⑤学習相談・情報提供機能の充実

- ・生涯学習情報提供の一層の充実
 - ★公民館相互の情報ネットワークの充実支援 等
- ・情報提供体制の充実
- ・企業等との連携による取組の推進

たくましく未来を切り拓く「学び」

①青少年のキャリア形成への支援

- ・社会全体で勤労観・職業観を育成する取組の充実
 - ★「子ども参観日」の推進
 - ★本県の産業等への理解を深める取組の推進 等
- ・社会性をはぐくむ様々な取組の充実
 - ★青少年教育施設での自然体験活動の充実 等
- ・若者の自立支援
 - ★不登校傾向の児童生徒等の自立支援
 - ★若年無業者等の職業的自立支援 等
- ・障害のある児童生徒へのキャリア教育の充実

②キャリアアップ・再チャレンジ等生涯を通じたキャリア形成への支援

- ・学び続ける環境の整備・充実
- ・女性への支援の充実
- ・高齢者への支援の充実

個々が輝く「学び」

①学習機会のユニバーサルデザイン化の推進

- ・アウトリーチ型学習支援の充実
 - ★公民館等を核としたアウトリーチ型プログラム開発の支援 等
- ・情報通信技術等を活用した学習機会・情報提供の充実

②多様な個性・能力の伸長の支援

- ・多様な学習機会の提供、学習活動実践の支援
- ・ノーマライゼーションの推進による学習機会の充実
- ・スポーツに親しめる環境づくりの推進
- ・健康づくりの推進
- ・文化活動に親しめる環境づくりの推進
- ・個性を伸ばす教育の推進
- ・多様な個性・能力の伸長を実現する基盤づくりの推進

多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」

①多様な主体との連携・協働による取組の推進

- ・企業等との連携・協働
 - ★退職後の「地域デビュー」支援の推進
 - ★家庭教育に関する「出前講座」の実施
 - ★「子ども参観日」の推進 等
- ・公益法人やNPO等民間団体との連携・協働
 - ★青少年のキャリア形成を支援するプログラムの開発・実施 等
- ・博物館・美術館等との連携・協働
 - ★博物館・美術館が提供する学習機会等に関する情報提供 等
- ・大学等との連携・協働
- ・専修学校との連携・協働

②生涯学習推進体制の整備

- ・生涯学習推進体制の一層の充実

③生涯学習関連施設の機能充実

- (1) 県生涯学習センター

- ・生涯学習・社会教育研修拠点としての機能の充実

- ・生涯学習情報発信体制の整備・充実

- ・学習講座等の開設

- ・調査・研究機能の充実

- ・施設・設備の利用促進

- ・学習者・団体相互の交流・連携

(2) 県立図書館

- ・県民に開かれた図書館の一層の推進

- ・県域の中核となる図書館機能の充実

- ・調査・研究センターとしての機能の充実

- ・メディアセンターとしての情報提供機能の充実

- ・資料保存センターとしての機能の充実

(3) 社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）

- ・社会からの要請に応える機能充実の支援

- ・個々の県民の学びを支援する機能充実の支援

- ・専門性をもった職員に対する研修機会の充実

第3次岡山県生涯学習推進基本計画 目標指標の進捗状況

資料2

～人がつながり地域社会に生かす「学び」の推進～

施策の方向	目標とする指標	計画策定時 現況値	H21年度末 現況値	H22年度末 現況値	H23年度末 現況値	H24年度末 現況値	目標値	備考
①地域に対する理解を深める学習機会の充実	地域理解につながる学習を実施している公民館等の割合	—	—	23.5%	46.4%	54.0%	100%	増加
②地域におけるつながりや支え合いを創り出す場・組織の充実	地域の人材を学校で活用している公立小・中学校の割合	—	—	63.0%	95.3%	100.0%	100%	増加
	放課後の子どもの居場所の整備							
	放課後子ども教室の設置か所数	161か所	163か所	166か所	170か所	170か所	200か所	横ばい
	放課後児童クラブの設置か所数	338か所	364か所	389か所	398か所	408	405か所	増加
	家庭教育相談員の養成数	690人	724人	742人	772人	822人	870人	増加
③地域社会に参加・参画するプログラムの充実	学生ボランティア養成講座受講者数	—	—	60人	112人	163人	100人	増加
④生涯学習コーディネーターの育成	今後5年間で社会教育主事講習を受講する教職員数	—	2人	10人	10人	18人	50人	増加
⑤学習相談・情報提供機能の充実	ホームページで情報提供を行う公民館数	78	78	108	148	196	200	増加
	県立図書館のレファレンスデータベース登録事例数	3,000件	3,585件	3,762件	3,981件	4,172件	4,800件	増加

～たくましく未来を切り拓く「学び」の推進～

施策の方向	目標とする指標	計画策定時 現況値	H21年度末 現況値	H22年度末 現況値	H23年度末 現況値	H24年度末 現況値	目標値	備考
①青少年のキャリア形成への支援	「子ども参観日」実施事業所数	—	—	5か所	17か所	24か所	50か所	増加
	様々な体験学習に参加した青少年の数	121,593人	123,466人	124,580人	124,375人	129,846人	133,000人	増加
	職場体験活動を4～5日実施する公立中学校の数	21校	18校	22校	76校	82校	50校	増加
②キャリアアップ・再チャレンジ等生涯を通じたキャリア形成への支援	公民館等において職業等に関する学習を実施している時間数	1,480時間	1,480時間	1,828時間	2,613時間	3,977時間	1,620時間	増加

～個々が輝く「学び」の推進～

施策の方向	目標とする指標	計画策定時 現況値	H21年度末 現況値	H22年度末 現況値	H23年度末 現況値	H24年度末 現況値	目標値	備考
①学習機会のユニバーサルデザイン化の推進	県生涯学習大学連携講座数	515講座	515講座	594講座	579講座	580講座	650	横ばい
	社会教育施設、団体等による出前型（アウトリーチ型）講座数	—	—	114講座	108講座	159講座	100	増加
②多様な個性・能力の伸長の支援	県民が1年間に公立図書館から借りた本の数	1,124万冊	1,176万冊	1,216万冊	1,246万冊	1,250万冊	1,300万冊	増加
	公的な生涯学習講座への参加者数	1,227,795人	1,274,851人	1,291,925人	1,311,555人	1,370,123人	1,300,000人	増加
	総合型地域スポーツクラブ会員数	7,870人	8,196人	8,583人	10,079人	10,076人	10,000人	横ばい

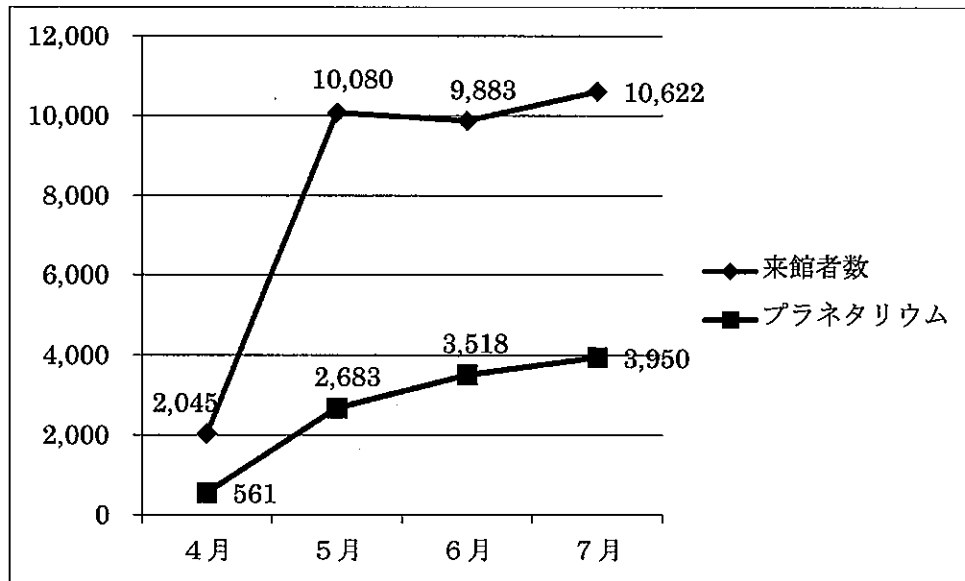
～多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」の推進～

施策の方向	目標とする指標	計画策定時 現況値	H21年度末 現況値	H22年度末 現況値	H23年度末 現況値	H24年度末 現況値	目標値	備考
①多様な主体との連携・協働による取組の推進	企業、団体等への学習機会の提供数	—	—	7回	14回	20回	100回	増加
	学生ボランティア養成講座受講者数（再掲）	—	—	60人	52人	163人	100人	増加
②生涯学習推進体制の充実	今後5年間で社会教育主事講習を受講する人数	—	3人	36人	39人	74人	120人	増加
	市町村において生涯学習推進のための基本計画等を策定している市町村の割合	29.6%	29.6%	29.6%	33.3%	48.1%	50%	増加
③生涯学習関連施設の機能充実	県生涯学習センターにおける施設利用者数	121,240人	121,240人	132,048人	132,357人	133,164人	125,000人	増加
	今後5年間の指導者研修事業への参加者数	—	—	605人	1,476人	2,943人	3,000人	増加
	県立図書館における児童書の蔵書冊数	100,000冊	109,613冊	119,512冊	128,413冊	136,318冊	160,000冊	増加

「人と科学の未来館サイピア」利用状況について

1 利用者数（平成25年7月31日現在）

来館者数 32,630 名
 プラネタリウム観覧者数 10,712 名



それぞれの月目標は、来館者数6,800人、プラネタリウム利用者3,000人と設定されており、概ね順調な滑り出しといえる（5月は学校利用なし）。

2 学校利用について

これまでの学校利用実績は次のとおりである。

保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	支援学校等
10	8	10	3	3	1

4、5月は受け入れを行わなかったため、実質的に6、7月の実績である。

プラネタリウムだけではなく、科学実験・体験広場での実験や工作、サイエンスショーなど利用する学校からの相談に応じて行っている。

今後の予約状況は次のとおり。主に9月・10月の遠足のシーズンに集中している。

《8月～3月予約》

保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	支援学校等
6	6	73	0	1	2

3 企画展示について

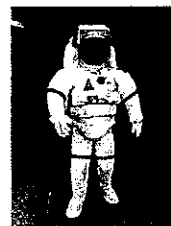
○これまでの展示内容

「有人宇宙開発」

協力：(一財)日本宇宙フォーラム

期間：H25.4.29～H25.6.2

★スペースシャトルや国際宇宙ステーションの模型、
実物の宇宙服等展示



恐竜展「ダイノパーツラボ」

協力：林原自然科学博物館

期間：H25.6.7～H25.7.7

★ゴビ砂漠での恐竜発掘調査などで収集した資料を展示、
恐竜の身体を部分ごとに分かりやすく紹介。

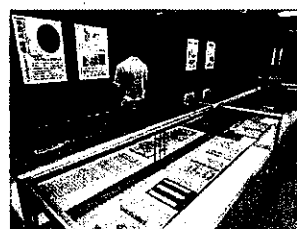


江戸の科学の夜明け～岡山が生んだ洋学者宇田川家三代の活躍

協力：津山洋学資料館

期間：H25.7.20～H25.8.29

★「日本に近代科学を紹介した」といわれる津山藩医・
宇田川玄随、玄真、榕菴の活躍を書籍展示等で紹介。



今後の予定 H25.9.4～山田養蜂場「山田養蜂場のみつばち教室～こんなにある
の！！みつばちからの贈り物～」

4 その他事業

◆プラネタリウム特別投影

- ・桃太郎少年合唱団～七夕コンサート～
- ・星空解説「七夕の星たち」英語版

◆サイピアわくわく科学フェスティバル

◆岡山村田製作所ロボット教室

◆京セラ環境出前事業

(実施予定)

学校学習利用研修会 (教員向け)

ロボット競技大会

お天気教室

量子力学 (岡山県光量子研究所)

2014年10～11月

「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されます！

岡山市で開催される会合等 当面の予定

10月	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13
	主	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
公民館・CLC(コミュニティ・ラーニング・センター)会議 (10月9日～12日)								★					

公民館・CLC(コミュニティ・ラーニング・センター)会議
(10月9日～12日)

ユネスコスクール世界大会

ユース・コンファレンス

ESDウィーク・オープニングセレモニー

持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議

視察旅行

ESDウィーク

ユネスコスクール世界大会

【期間】 2014年11月6日(木)～8日(土)
 【主催】 ユネスコ、文部科学省
 【内容】 ESD活動に取り組む世界各国のユネスコスクールの高校生と教員が、ESD実践を共有し、共通の未来を創るために話し合う。
 高校生フォーラムは、県内の高校生等が企画・運営等に参画する形式で行われる見込み。

高校生フォーラム

教員フォーラム

全国大会

ユース・コンファレンス

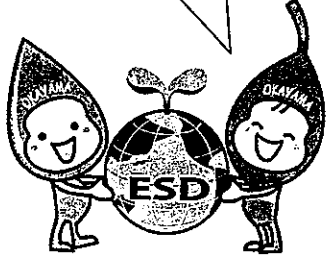
【期間】 2014年11月7日(金)
 【主催】 ユネスコ、文部科学省
 【内容】 世界各国の18歳～35歳のESD実践者が、それぞれの経験と知識を共有し、2014年以降のESDの推進について話し合う。

持続可能な開発のための教育に関する「国連大学」によるグローバル会議

【期間】 2014年11月4日(火)～7日(金)
 【主催】 国連大学等
 【内容】 岡山市を含む、世界全体で100地域を超えるESDの地域拠点の関係者が、これまでの取組成果や今後の方向性等について議論



2014年秋開催です！



「ESDに関するユネスコ世界会議」 岡山市主催「公民館・CLC会議」の概要(予定)

開催期間

■10月 9日(木)
~10月11日(土)
<視察>12日(日)

主催等

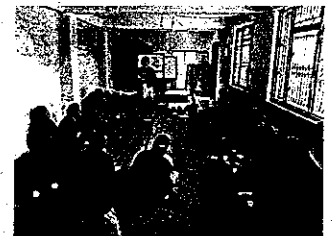
■主催 岡山市
■共催 ユネスコ
地域事務所等

参加者

■日本およびアジアを中心とした、公民館やCLC等に関わる社会教育関係者、ESD関係者

内容

■ESDをテーマに、これまでの取組成果や今後の方向性等について議論を行うもの



ネパールのCLC

※CLC … Community Learning Center アジアを中心に設置されているコミュニティ学習センター



岡山市立京山公民館

岡山市京山地区ESD推進協議会

2003年、学区の小中学生とおとなが公民館を拠点に地域の環境について調べ発表するESD活動が岡山市で最初に始まった。今では地域の歴史を映画にしたり、祭りを復活したりといった活動にも広がっている。



岡山市立岡輝公民館

在住外国人が多い岡輝地区では、災害時の助け合いを促し、国籍を超えた地域力の構築を目指して、「命」をキーワードに、「多国籍防災会議」を開催している。

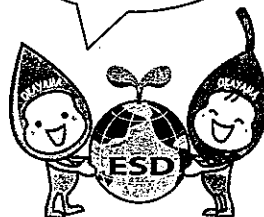


岡山市立高島公民館

高島旭竜エコミュージアム

希少な淡水魚が生息する自然豊かな地域。農家の高齢化と宅地化が進む中で、どうやって生き物にも人間にも住みやすい地域をつくっていくかを子どもとおとなが一緒に取り組んでいる。

岡山市の
公民館の
取り組みです



岡山市立吉備公民館

吉備地区には、多くの歴史遺産や伝統文化が残っており、歴史ある地域資源を伝承する「吉備・陵南まちかど博物館」など、地域の良さを知り、ふるさとに誇りを持てる地域づくりを目指した活動をしている。